

報道関係者 各位

2025 年 6 月 24 日

ジャパン・ハウス ロンドン

『Pictograms: Iconic Japanese Designs 本質のかたち』展

2025 年 7 月 30 日（水）－ 2025 年 11 月 9 日（日）

ジャパン・ハウス ロンドン 地下ギャラリー／1 階ショーウィンドウ・展示ブース



Pictograms from *Experience Japan Pictograms*(c) Nippon Design Center

ジャパン・ハウス ロンドンは、2025 年 7 月 30 日（水）から 2025 年 11 月 9 日（日）まで、『Pictograms: Iconic Japanese Designs 本質のかたち』展を開催します。

日本のデザインは、さまざまな分野で世界から注目されています。日本のデザインの根底には、ものごとの本質を捉える力や違いを描き分ける力があり、それを最も端的に表したのが

ピクトグラムです。ピクトグラムは、誰もが理解できるデザインを通して情報を伝えるためのヴィジュアルコミュニケーションのひとつで、公共の施設や交通機関、地図、スマートフォンやSNSでのメッセージなど、日常生活のあらゆるところで使われています。1964年東京オリンピックを機に日本から世界に普及したピクトグラムは、時代とともに進化を続け、近年では単なる案内表示や注意喚起といった情報を伝えるだけでなく、日本の文化や伝統、慣習を巧みに表現したデザインで、より多様な場面において、知的好奇心を刺激し、異文化間の相互理解を深めるきっかけを創出するツールとしても重要な役割を果たすことが期待されています。

本展は、ピクトグラムの歴史や文化的背景を紐解き、そのデザインの基本構造や制作過程を深掘りし、さらには未来に向けた新たなヴィジュアルコミュニケーションの可能性を探求しながら、日本のデザインの本質に迫ります。これまでとは異なる視点から日本のデザインを捉えることで、日本についての新しい発見や驚きを体験できる機会となるでしょう。

ピクトグラムの起源を辿ると、15万年以上前の洞窟壁画や象形文字まで遡ります。本展では、フランスのラスコー壁画や古代エジプトの墓の彫刻を例に挙げ、ヴィジュアルコミュニケーションが、人類の長い歴史の中でいかに存在し、進化を続け、発展してきたのかを振り返りながら、現代のピクトグラムの姿に至るまでの変遷を紹介します。

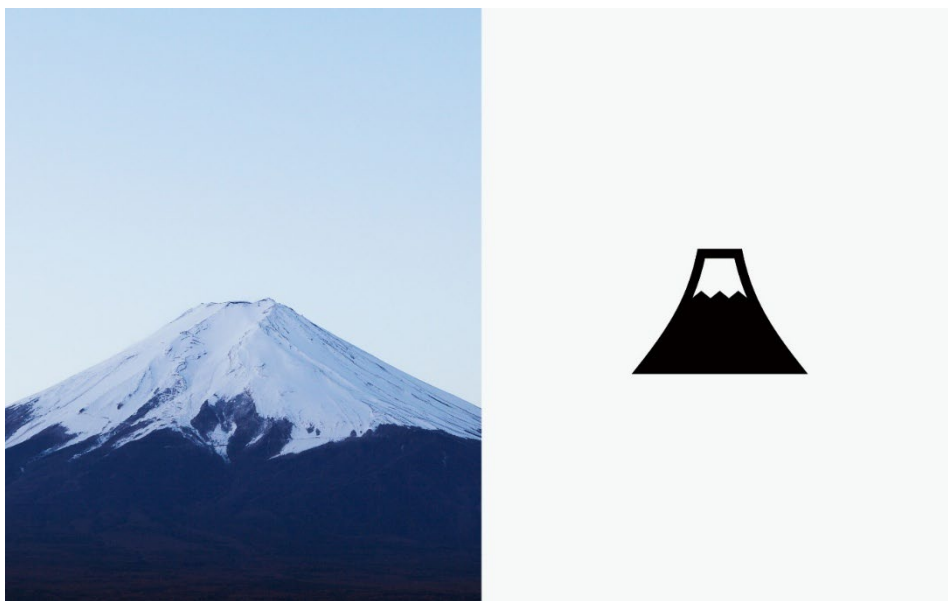
ピクトグラムの開発において、日本は不可欠な役割を果たしてきました。1964年東京オリンピックで初めて実用化されたピクトグラムは、言語や文化が違う訪日外国人にも視覚的に情報を瞬時に理解できるように、日本デザインセンター永井一正氏を含める数十人の著名なデザイナーたちによってデザインされ、その後国際的なスポーツイベントの国際基準となり、現在では世界共通のシンボルとして広く認知されています。その先駆的で革新的なデザインは、コミュニケーションツールとしてSNSやスマートフォンなどで世界中で使われている絵文字(emoji)の原型となりました。

『Pictograms: Iconic Japanese Designs 本質のかたち』展は、ジャパン・ハウス ロンドンの主催で、日本デザインセンターの企画により開催します。日本デザインセンターは、ピクトグラムが持つコミュニケーションの可能性に着目し、新たなプロジェクト「EXPERIENCE JAPAN PICTOGRAMS (以下 EJP)」を2020年に立ち上げました。EJPは、日本のデザインの特徴を踏襲しながら、静止画を用いた従来のピクトグラムに動画や立体的な表現を加えた新機軸のピクトグラムです。EJPは、600を超えるシンボルからなるヴィジュアルコミュニケーションツールを通じて、日本文化を誰にでもわかりやすく伝え、より魅力的な日本の観光

体験を向上させることを目的に同社により開発されました。同プロジェクトをきっかけに企画された本展は、現代にも大きな影響を与える革新的な日本独自のデザインを世界に提示します。

会場には、3D ピクトグラムやインタラクティブな展示を通じて、来場者自身がピクトグラムの一体となりピクトグラムの世界に没入することや、サンプルパーツを使って自分だけのオリジナルピクトグラムをデザインすることができる体験コーナーも設けられ、シンプルでありながら奥深いピクトグラムの世界を五感で体験することができます。

本展は、ジャパン・ハウスの巡回企画展として、ジャパン・ハウス ロンドンでの開催後、2026 年にはジャパン・ハウス ロサンゼルスとジャパン・ハウス サンパウロに巡回する予定です。



Mount Fuji from *Experience Japan Pictograms* (c) Nippon Design

「ひとつのイメージでどれだけの情報を伝えられるのか。言語を超えることはできるのか。携帯電話や車のダッシュボード、非常階段など、ピクトグラムは今や日常生活の一部となっていますが、日本がこの具象的シンボルの発展と普及に与えた影響は計り知れません。ヴィジュアルコミュニケーションは、何千年もの間人類の営みの一部でしたが、それはますますグローバル化が進む現代の環境において、これまで以上に重要な役割を担っています。可能な限り必要のない要素を削り落とし、ものごとの本質を可視化した最もシンプルなコミュニケ

ーションツールであるピクトグラム。本展では、ピクトグラムを視点としたデザインの基本的な構成要素や、文化の壁を超えたより効果的なヴィジュアルコミュニケーションの可能性に焦点を当てます。」

——— サイモン・ライト（ジャパン・ハウス ロンドン企画局長）

「ものごとの本質を捉える力や違いを描き分ける力を必要とするピクトグラムには、デザインのエッセンスが凝縮されています。本展では、デザインから日本の観光体験を支えるために開発した‘EXPERIENCE JAPAN PICTOGRAMS’を通して、デザインの観点から日本の魅力を紐解いていきます。ピクトグラムを「動画化」「立体化」することで、日本のマナーや習慣をわかりやすく伝える試みや、アクセシビリティを高めるアイデアなど、従来のピクトグラムの枠組みを超えたヴィジュアルコミュニケーションの可能性をご紹介します。人々が自由に交流する時代において、「わかりやすく伝える」ことは、今後ますます重要になっていくでしょう。普段気にすることのないピクトグラムの魅力に触れてください。」

——— 大黒 大悟（日本デザインセンター クリエイティブディレクター）

【開催概要】

展覧会名：『Pictograms: Iconic Japanese Designs 本質のかたち』

主 催：ジャパン・ハウス ロンドン

企 画：日本デザインセンター

ジャパン・ハウス ロンドン協賛： Epson UK Ltd、NTT Data Inc Group、Yamaha Music Europe GmbH

会 期：2025 年 7 月 30 日（水）－ 2025 年 11 月 9 日（日）

場 所：ジャパン・ハウス ロンドン（101-111 Kensington High Street, London, W8 5SA）

時 間：月曜日～土曜日 | 午前 10 時～午後 8 時

日曜日・祝日 | 午後 12 時～午後 6 時

入 場：無料

【本展広報用画像および動画】

本展の広報用素材は [こちら](#) からダウンロードいただけます。

本展の公式展覧会画像につきましては、準備が整い次第お知らせいたします。

【日本デザインセンターについて】

日本デザインセンターは、1959年に日本の広告デザインの質を高め、デザイン面から日本の産業発展に貢献することを目的に設立されました。ツーリズム、サステナビリティ、テキストエディタ、産業ビジョンなど、社会を観察し、問いを立て、構想を自ら具体化したプロジェクトを進めています。本質を見極め、可視化するデザインを追求し、技術と美意識を融合させ、デザインを通して新しい文化創出や価値を提供しています。

[公式ウェブサイト](#)

【ジャパン・ハウスについて】

ジャパン・ハウスは、日本の多様な魅力や政策、取組を発信することにより、幅広い層に対し、親日派・知日派の裾野の一層の拡大をはかることを目的に、外務省により世界の3都市（サンパウロ・ロンドン・ロサンゼルス）に設置された対外発信拠点です。

ジャパン・ハウス ロンドンは、日本文化への関心が高まる欧州の拠点として、ロンドン市内の文化的、商業的建造物が多く所在するエリアの目抜き通りケンジントン・ハイストリートに2018年6月に開館しました。アールデコ調の歴史的建造物の中の3フロアにわたり、展示ギャラリー、多目的スペース、ライブラリー、レストラン、カフェ、ショップ、観光案内コーナーを備えた複合施設として、アート、デザイン、食、建築、テクノロジーなど日本の多様な魅力を通して、真の日本との出会いを現地の人々に提供しています。

[公式ウェブサイト](#)

[Facebook](#)

[Instagram](#)

【本展についてのお問い合わせ先】

ジャパン・ハウス ロンドン事務局 Marketing & Communications 部

担当：飛騨 香生里（Stakeholder Engagement Manager）

E-mail：Kaori.Hida@japanhouselondon.uk